

＜対策のポイント＞

みどりの食料システム戦略の実現の前提となるデータ駆動型農業を実践するため、農機・機器メーカーやICTベンダー、業界団体、研究機関等が行う農業データの連携・共有への支援や、農業データ連携基盤の活用促進によるデータを活用した農業を推進します。

＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

農業データ連携・共有のための環境整備

「農業分野におけるオープンAPI整備に関するガイドラインver1.0」（令和3年2月農林水産省策定）に基づき、農機・機器メーカーやICTベンダー、業界団体、研究機関等が行う農業データを連携・共有するための

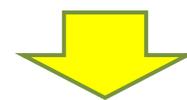
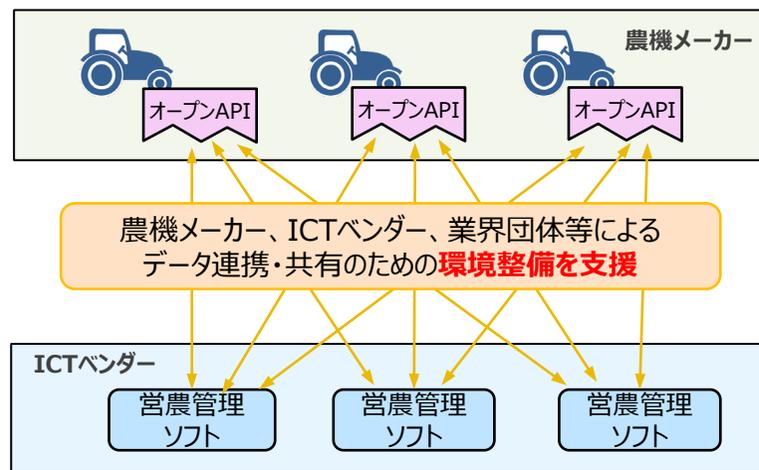
- ・協調データ項目の特定・拡大、データ形式の標準化
- ・データの利用権限等の取扱いルールの策定

等の環境整備を支援します。

※農業分野におけるオープンAPI整備に関するガイドライン

農業者が利用する農業用機械等から得られるデータについて、メーカーやシステムの垣根を越えて連携させるオープンAPIの整備を推進するため、農機メーカーやICTベンダー等の事業者の対応指針を整理したもの。

【事業例（農業データ連携・共有）】



一つの営農管理ソフトで様々なメーカーの農機データをまとめて管理できる。

＜事業の流れ＞

